

# 小学校・中学校・高等学校等をつなぐ「キャリア・パスポート」について

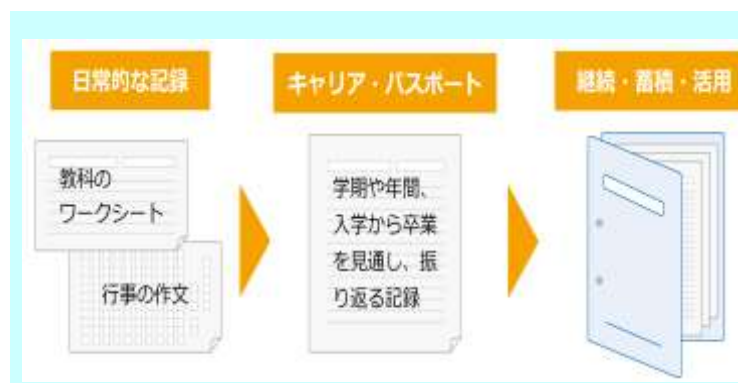
文部科学省の通知「『キャリア・パスポート』例示資料等について」（平成31年3月29日）で示されたとおり、全ての小・中・高等学校において「キャリア・パスポート」を活用することとなっています。ここでは、「キャリア・パスポート」の作成・活用・引き継ぎのポイントについて紹介します。

## 作成のポイント

### キャリア・パスポートとは

キャリア・パスポートとは、小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる諸活動について、特別活動の学級活動を中心として、各教科等と往還し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりしながら、自身の変容や成長を自己評価できるよう工夫されたポートフォリオのことです。

文部科学省より例示資料が示されていますが、これまで学校で実施してきた「学期のまとめ」や「一年間の振り返り」の取組をキャリア教育の視点で見直しキャリア・パスポートに活用するなど、各地域・各学校の実態に応じ柔軟に工夫することができます。国が示す各種資料等を参考に、現在の学校の取組を生かして作成していくことが大切です。



- ①「教科学習」、②「教科外活動」、③「学校外の活動」の三つの視点で振り返り、見通しがもてるような内容とします。
- 各学年での蓄積が数ページ（5枚以内）となるように、選択・再編集などを行って作成します。

## 活用のポイント

記録する活動を行うとともに、記録を用いて話し合い、意思決定を行うなどの学習過程を重視した学習活動を行ったり、児童・生徒理解を深めるために記録を用いてカウンセリングを行ったり、大人（家族や教師、地域住民等）が対話的に関わったりするなど、キャリア・パスポートの活用方法を工夫して、キャリア教育の充実を図ることが大切です。

### 【事例】話し合いなどの学習過程での活用

小学校

四半期（3か月）ごとに、学級活動でキャリア教育に関する目標の見直しを行い、児童が自らの具体的な行動をイメージして自己評価を行うことができるようにしています。個人活動で、目標に向けて児童が具体的にがんばりたいことを考え、集団活動で相互評価を行えるようにしています。

個人活動  
(具体的な  
目標設定)  
による  
自己評価

【キャリア・パスポート】  
・〇月～〇月のめあて  
・がんばること  
・目標の振り返り 等

集団活動  
(よいところ  
を褒める)  
による  
相互評価

### 【事例】三者面談での活用

中学校

中学校の三者面談で、キャリア・パスポートを活用して、生徒が自ら小学校でのがんばりを語る機会を設定し、担任は生徒が書いた記録を基に、生徒のよさや可能性を認めるようにしています。

【生徒】  
自分が書いたキャリア・パスポートを活用することで、安心感を得ることができません。

三者面談

【担任】  
生徒の様々な面に気づき、生徒理解を深め、信頼関係を築くことにもつながります。

### 【事例】振り返り活動での活用

小・中学校

中学校で、小学校の時に記録したワークシートを用いて話し合い活動を行うことで、自己の成長を感じたり、変容を自覚したりできるようにしています。

【ワークシート例】

- 中学校の先生へ  
今、学校生活に対して期待すること、わからないことや不安なことなどを書きましょう。  
小学6年  
・いろんな授業を受けることが楽しみです。  
・友達関係が不安です…。
- これから中学校へ入学する君たちへ  
これから中学校へ入学する後輩へ中学校生活を紹介します。  
中学1年  
・中学校はテストがあって大変だけど、体育祭、文化祭などいろいろな行事があり、とても楽しいです。部活の先輩も優しいです！クラスの人とも仲良くなると、毎日がとても幸せです！絶対に優しくします！

【教師の問い】  
一年前の記録と比べてみましょう。

## 引き継ぎのポイント

### 引き継ぎの意義

社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育成するためには、小学校から高等学校までの発達段階に応じたキャリア教育を行うことが大切です。キャリア・パスポートを通じて、学年間や校種間でキャリア教育を系統的に進めていくことがねらいです。

### 引き継ぎの方法

- 学年間の引き継ぎ原則、教師間で行う。
- 校種間の引き継ぎ原則、児童・生徒を通じて行う。（※指導要録の写しなどと同封して送付することも考えられる。）

### 引き継ぎに関する主な留意点

- 確実な引き継ぎを行うとともに、各自治体及び学校設置者の個人情報保護規則や情報セキュリティポリシー等を踏まえ、個人情報の取扱いに留意する。
- 設置者、各校において独自の名称で呼んでいる場合には、何が（どれが）キャリア・パスポートなのか、引き継ぎ先や児童生徒が認識できるように留意する。
- 小学校入学から高等学校卒業までの記録を蓄積する中で、整理やまとめに関する指導も行い、適切なページ数となるよう選択・再編集を行う。

- 参考資料
- 小学校及び中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則及び特別活動編（平成29年7月 文部科学省）
  - 「キャリア・パスポート」例示資料等について（平成31年3月 文部科学省）
  - 自分らしい生き方を目指して キャリア・パスポートを活用したキャリア教育の充実に向けて（令和2年4月 東京都教育委員会）

- キャリア教育リーフレットシリーズ キャリア・パスポート特別編5・8・9（文部科学省）
- 「キャリア・パスポート」に関する Q & A について（令和4年3月改訂 文部科学省）